

【競技・審判上の注意等について】

1 競技・審判上の注意

〈全般的事項〉

1. 本大会は、2025年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規程により行います。及び「競技・審判上の注意」に則り、大会運営を行います。
2. 審判構成は派遣審判員の協力を得て、主審のみ大会本部にて行います。各種目準々決勝までは、サービスジャッジは原則として配置しません。
3. 試合(マッチ)の進行は、試合番号順に空いたコートへ入れていきます。(流し込み方式)
進行状況によって連続してマッチを行う場合、原則としてマッチ終了後10分の間隔を置き、次のマッチを行います。
4. マッチ中のシャトルの銘柄変更、指定は認めません。シャトルの交換は、主審が決定します。また、シャトルのスピードはレフェリーが決定します。
5. インターバル時にアドバイスをを行う場所は、競技区域内に限定し、次の条件に従ってください。
 - (1) コーチ席を2席設けます。どちらのサイドも2人まで競技区域に入ることが認められていますが、主審が「(コート番号)20秒」とコールしたら競技区域外へ離れてください。
 - (2) インプレー中のアドバイスは認められません。なお、団体戦の場合はチームベンチとコーチ席、個人戦の場合はコーチ席を設けます。チームベンチ、コーチ席に入られる方は、コーチングにふさわしい服装(9. 記載)で臨んでください。
6. マッチ中における水分補給、汗拭き、ラケットの交換、靴紐の締め直し等による中断については、必ず主審の許可を得てください。また、以下のことに注意してください。
 - (1) 団体戦のとき、選手(プレーヤー)はベンチまたはその付近での水分補給は認めません。
 - (2) 容器は倒れても水が漏れないボトル等を使用し、コートサイドのかごの中に入れるか、選手が持参した入れ物(ラケットバッグ等)に入れてください。
 - (3) 体力回復を図っていると思われる行為は認めません。
 - (4) 競技フロア内へのハードクーラーボックスの持込は禁止します。
 - (5) 氷のうの使用はインターバル時のみ認めます。氷のう使用後は小型の保冷バッグ(ソフトバッグ)等に入れ、保管してください。
7. マッチ中のけがや病気に対しては、主審が判断します。主審が必要に応じてレフェリーを呼んだ時は、レフェリーの判断に従ってください。応急処置はいたしますが、その後は自己責任となります。
8. 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認めません。もし判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に「質問」をすることができます。ここで質問のできる者とは、団体戦では当該プレーヤーと監督、個人戦では当該プレーヤーに限ります。マッチ中、インプレーでない時のアドバイスはチームベンチまたはコーチ席に座って行い、マッチ中はコートのそばに立ってはいけません。また、監督・コーチが他のコートへ移動する時は、必ずインプレーでない時に行ってください。
9. マッチ時における服装は、大会運営規程第23条、第24条を遵守してください。
その際、背面中央には漢字で明瞭に判断できる色で書かれた都道府県のみを、文字の大きさは、横30cm、縦6～10cmの範囲に明示してください。
ゼッケンを使用する場合の大きさは、横30cm、縦15cmを基準とします。また、明示した布をピンで固定する場合は、四隅を止めてください。
また、監督・コーチの服装については、公認審判員規程第5条第12項(8)に基づき、マッチにふさわしい服装で臨んで下さい。チームユニフォーム、シャツ、ポロシャツ、ブラウス、

長ズボン、スカート等を着用してください。

10. 競技区域での携帯電話の使用は禁止します。また、会場内での携帯電話はマナーモードにしてください。モバイル機器(タブレット端末・携帯電話等)を使用時のマッパ中のアドバース、コッチングは認められせん。
11. プレーヤーは、試合(マッパ)のコールがあるまで、フロアー内に立ち入らないでください。
12. その他については、代表者会議における打合せ事項に準じます。

〈団体戦について〉

13. オーダー用紙は、必要部数を当日8月13日に代表者会議にて配付します。トーナメント戦での次対戦分は対戦後、勝者チームに配付します。
14. オーダー用紙は、オーダー交換所に提出してください。対戦チームが揃ったらオーダー交換を行いますので、定刻(指定があった時刻)厳守でお願いします。
 - (1) 8月14日 1巡目オーダー提出時刻は、【8:30】です。
 - (2) 2巡目以降のオーダー交換については、放送で案内します。
15. 定刻(指定のあった時刻)までにオーダー用紙の提出が無いときは、「棄権」と見なします。
16. コート入場後の公式練習は、主審の指示によりマッパごとに行います。ただし、練習開始時からプレー開始(ラブオールプレーのコール)までの間を2分間とします。
17. 公式練習用シャトルは、各チームで準備すること。
18. 当日の初回戦は、3試合(マッパ)すべてを行います。このとき、勝敗決定後の3試合目のオーダー変更を認めます。なお、変更するスコアシートを持参し、主審に申し出てください。主審からレフェリーに確認を取ります。初回戦以降、勝敗決定後のマッパは打ち切りとします。
19. 進行状況に応じて、1対抗戦の開始時または対戦途中から2コートを用いて行うことがあります。この場合も試合の順序に関係なく、勝敗決定後、打ち切りとします。

〈個人戦について〉

20. 選手(プレーヤー)の変更は、いかなる場合も認められせん。
21. コート入場後の公式練習は、主審の指示により行います。公式練習は、団体戦同様とします。シングルスの場合は、対戦相手と行ってください。
22. 公式練習用シャトルについては、ダブルスは各自で準備すること。シングルスは本部で準備します。

2 監督、コーチ、プレーヤー等、変更・棄権の確認

1. 監督、コーチ、マネージャー、プレーヤーの変更届及び氏名訂正届は代表者会議において要請できますが、その後の変更は一切認めせん。
2. 棄権が事前に分かっているプレーヤーについては所定の用紙により、事務局までご連絡ください。用紙は日本教職員バドミントン連盟ホームページよりダウンロードできます。ダブルスの場合、プレーヤーのどちらかが棄権要因の場合は、その名前と理由をお書きください。
3. その他の棄権については、大会運営規程によります。

3 会場使用上の注意

1. 貴重品他、持ち物については各自で管理してください。盗難等が起きても主催者側では責任を負いかねます。
2. 体育館外から持ち込んだものは、ゴミを含めて全て各自で持ち帰ってください。
3. 競技フロア内は、競技中の水分補給以外は飲食厳禁です。
4. 館内器具などの無断使用及び他施設への立ち入りを禁止します。
5. 体育施設敷地内は、全て「禁煙」です。喫煙される方は、迷惑にならないようマナーを守ってください。
6. 体育施設内のコンセントの使用は、禁止します。
7. 食事は観覧席でとってください。
8. フロア内での写真・動画等の撮影は、報道関係・大会関係者を除き、禁止します。観客席からの撮影においても、個人情報の保護に十分注意していただき、運営の妨げにならないようお願いします。また、SNS 等へのアップはお控えください。